

下岡地区紹介

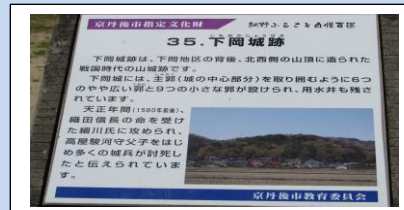
<下岡城は丹後北部の要だった>

網野駅のある一帯から北へ高天山の先の山すその集落です。東部は、耕地整理された水田地帯で、その東を福田川と新庄川が北流します。

「下岡のふるさと自慢は？」と聞くと「高天山」「下岡城址」「網野駅」だと答える区民がいます。

その一つの「下岡城」は、その昔、明徳三年明徳の乱の戦功によって丹後国守護を命ぜられた一色満範が、丹後全土にわたって八十五城を配して領地の守りを固めたうちの一城で、丹後北部の要となっていました。下岡城址（昭和五十一年網野町指定文化財）は、丹後における戦国時代の典型的な山城の様子がよくわかる貴重な遺跡です。場所は下岡地区の中央部の山林にあります。

下岡城址 略図



KTR 網野駅



網野駅<愛称: 静御前と乙姫の里駅>は、KTR（北近畿タンゴ鉄道）が誕生した年に改築されました。昭和 55 年（1980）公布の国鉄再建法によって、宮津線は廃止され、関係市町や団体において平成元年 8 月、第三セクターにより存続、開業されました。網野駅舎は、日本海に浮かぶヨットを想定したデザインで海のある観光地にふさわしいユニークな建物として親しまれています。観光の拠点施設としての情報センターも併設されています。網野町の窓口です。



六神社本殿

六神社の由緒や建築年は不明ですが、明治六年に村社となっています。幕末から明治にかけて丹波、丹後を中心に活躍された彫刻師の中井権治氏の彫刻品が数多く使用されていて、誇りえる社殿です。六神社の狛犬一対は、貴重な文化財です。



高天山から北東方向



高天山は標高 285m です。登山口（下岡）から頂上まで約 4Km、頂上まではなだらかな林道で歩きやすい道です。高天山は、網野の中心街が一望できます。（上記写真撮影は松尾勇氏です）

<区長さんコメント>

下岡は、秋祭り（十月第二 土、日曜日）をはじめ盆踊り大会（八月十四日）、子供祭り（五月 五日）などのイベントに各種団体や区民の絆とパワーが合体した取り組みが展開されていて、活気がみなぎっています。

「地域づくりは、人づくり」「自分があって地域がある」の意気込みで、ふるさとを守りたいものです。